

## 平成16年度の血漿分画製剤の需給状況(需給計画との比較)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		15年度	16年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,250,700 (83.1%)	1,856,100 (95.4%)	3,457,500 (93.8%)	47.5%	50.2%
		3,912,800	1,946,500	3,687,400		
乾燥人フィブリノゲン	1g	4,000 (114.3%)	4,000 (114.3%)	2,100 (100.0%)	100.0%	100.0%
		3,500	3,500	2,100		
組織接着剤	接着面積(cm2)	9,657,100 (81.9%)	4,106,400 (102.0%)	9,411,400 (87.5%)	41.5%	40.7%
		11,789,200	4,025,000	10,757,700		
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	288,400 (96.8%)	115,300 (95.2%)	282,500 (96.2%)	44.1%	39.9%
		297,900	121,100	293,700		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	40,000 (117.0%)	40,000 (117.0%)	33,300 (109.9%)	100.0%	100.0%
		34,200	34,200	30,300		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	13,500 (125.0%)	0	13,100 (102.3%)	0.0%	0.0%
		10,800	0	12,800		
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	82,800 (38.8%)	0	157,700 (103.3%)	0.0%	0.0%
		213,600	0	152,700		
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	2,300 (25.8%)	2,300 (25.8%)	48,500 (102.8%)	100.0%	100.0%
		8,900	8,900	47,200		
人免疫グロブリン	2.5g(瓶)	1,218,200 (83.7%)	1,078,500 (85.3%)	1,364,200 (98.4%)	86.9%	87.5%
		1,455,900	1,263,800	1,386,300		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	24,200 (119.8%)	600 (100.0%)	20,800 (112.4%)	3.2%	2.7%
		20,200	600	18,500		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	17,100 (108.2%)	0	9,000 (104.7%)	0.0%	0.0%
		15,800	0	8,600		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	87,500 (62.2%)	0	92,000 (96.5%)	0.0%	0.0%
		140,700	0	95,300		
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	369,700 (108.5%)	317,300 (106.1%)	376,800 (111.1%)	84.5%	88.0%
		340,600	299,000	339,200		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	520	520 ( )	380 (253.3%)	100.0%	100.0%
		0	0	150		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	38,200 (88.8%)	0	44,100 (102.8%)	0.0%	0.0%
		43,000	0	42,900		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	230 (28.8%)	0	400 (100.0%)	0.0%	0.0%
		800	0	400		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。